

市民と野党の共闘



愛知1区
安倍首相の税金私物化に抗議
 11月17日、安倍首相主催の「桜を見る会」に抗議、市民と野党をつなぐ会@愛知1区」が呼びかけ70人が参加。政党から、立憲民主党の吉田統彦衆院議員、



11月30日、金山南口愛知4区「市民アクション」、つなぐ会」は、野党と一緒に「政治の私物化」に抗議する合同街宣、40人ほどが参加。「4区市民ア



革新・愛知の会
桜を見る会
緊急街頭宣伝
11月27日、栄三越前



オール埼玉総行動、1万人集会を9回

愛知4区
政治の私物化やめよ
市民と野党の合同街宣
 日本共産党の須山初美県常任委員、緑の党・東海の丹羽淳氏が参加。3氏は、市民と野党が共同して安倍政権を追求していくことなどを強調しました。

クシヨン」の見崎共同代表ら市民10人が次々にマイクを握った。野党のスピーチは国民民主党の牧義夫衆院議員と共産党の西田とし子、社民党・平山良平、新社会党・保田泉緑の党東海・尾形慶子の各氏。安倍政権を終わらせよう、と訴えた。

オール埼玉総行動を知り
緑区・草加革新懇に学ぶ
埼玉革新懇を訪れる
 11月15日、革新・愛知の会、東部革新懇、岐阜革新懇の6名で埼玉革新懇にかけた。広い事務所には、これまで（文化と講演の夕べ）のポスターが張り出され「県民の文化要求にこたえろ」催しを例年、規模にこだわらず続けている。県事務室長、事務室員、緑区革新懇、草加革新懇、戸田革新懇が参加。

10年の緑区革新懇の活動
 《楽しい運動は辞めた方がいい》——①養鶏をやっている会員と連携、卵を売って資金づくり②ウオーキング・桜を見る会、ミニ講演会③収穫祭を新米のおにぎり、豚汁で《人生と暮らしを語り合う》④うたごえ喫茶も。遊びと政治とのつなげて。行動するとき

7年目の草加革新懇の活動
 地域の要求、ひとり一人の問題意識を出し合い、教科書問題、水道料金の値上げ反対、児童保育の民営化などを取り組む。毎月、草加革新懇ニュース発行。手配りで会員に配布。辺野古ツアー、福島ツアーも。かつて名東区で活動した事務局長は愛知県と比べ埼玉は反共意識が強い、とも。緑、草加とも前市議が事務室に。当日参加された愛知の東部革新懇も元名古屋市議、革新懇運動のひとつの方向を示すのでは……。埼玉訪問を地域・職場革新懇に十分広げられなかったことは残念。次の機会にはご参加を！
 《事務室長・村上俊雄》

討論

20%の人は立憲野党に投票。20%は大量棄権層。さらに30%が無関心層。20代の60%が貯蓄ゼロで政治のことなど考えられない人々。この20%、30%にどう寄り添うかが大きな課題。「一緒に生きるよう」（松本けんじさん・高知県知事選候補）の呼びかけが大事。野党が共闘すれば、投票率は上がる。上があれば野党の票が伸びる。2019年参院選の1人区での事実が証明している。

江上博之（名古屋市長）
 河村名古屋市長はトリエンナーレでの少女像を「国民の心をふみにじる」として中止を求めた。11月市議会で2点を追求した。①名古屋市のトリエンナーレ分担金、残り三千万を支出せよ②表現活動に対するアーツカウンスル（文化振興会）の編成に対して表現の自由をまもれる人を！

沢田昭二（代表世話人）
 中二の時、広島で爆心地から1、4キロで爆撃。つぶれた家屋に挟まれていた母から「生き抜いて立派な生き方をしなさい」と言われた。物理学を専攻し、いまは核兵器廃絶条約の発効をめざしている。これが発効すれば、核保有国を拘束し国連憲章が生きてくる。

西村秀一（緑平民懇）
 平民懇、天白区革新懇で「みんなが主人公の政治をめざす会」を行ってきている。市民と野党の共闘では野党間で消費税どうするか、政権構想をどう見るかを論戦。11月2日「安心できる暮らし、どう自由を守るか」で集会を行った。区民の願い、要求をだした。1月1回世話人会と機関紙発行を継続している。

市川大暁（民書）
 大学・街頭で多くの青年たち語りかける活動しているが、青年は決して何も考えていないわけではない。

竹内守（国公革新懇）
 発足して17年。三つの共同目標を固定的にとらえ過ぎていた。なかなか人が集まらない。どこでもいつでも職場革新懇はあると考えると取り組んでいる。労働問題、食と農、社会保障府での解雇の訴えなど、目の前の課題にとりくめば、革新

榊山不天（昭和田連働会）
 来年3月1日、名古屋市民会堂（第7会議室）で結成総会を予定している。全国交流会に参加して、「ひまな人を探そう」、3〜4やっている人は、もう1つ増やしてもやれる」をヒントに。いま事務室4人いるのであと1人確保したい。全国革新懇ニュースも増やしたい。

【運動方針の提案】
この一年の総括——①選挙イヤー。参院選で自民を過半数割れに、改憲勢力の3分の2確保を阻止。人のつながりのなさ・貧困で棄権する人、多数②表現の不自由展・その後で緊急シンポジウム開催。とりあえず再開させた③市民アクション、市民と野党をつなぐ会との共闘ひろがる④総選挙で安倍政治を終らせるために——市民と野党の共闘から野党連合政権づくりへ⑤「桜を見る会」で安倍政権を追求

情勢の特徴——最悪・最長の政権終了は可能
 ①グローバリズム・新自由主義のひろがり②安倍政権の7年のひどさ——ここに野党共闘の基礎がある③安倍改憲阻止は十分可能——自らの失敗で自詰められた。2大臣辞任、「身の丈」発言、「桜を見る会」などで憲法審査会で実質審議こ入れず④市民と野党の共闘おぼろげ——1区〜15区までつなぐ会に結集、13項目の学習を行う、共闘の展望（連合政権構想）が求められる⑤低投票率への対応が求められる。

運動方針と革新懇の特徴——①安倍改憲阻止めざし（国会の内外でたたかう）②総選挙こぼれ、市民と野党の共闘を進め、野党連合政権づくりをめざす③軍事力に依存する安全保障・大企業中心の経済政策からの転換をめざす④文化と講演の夕べの開催を検討する⑤革新懇運動の力量を課題に見合ったものにする——全国ニュースを2000部へ。3月に昭和田区で結成。東区でできると16区がそろそろ。無党派・他党派の参加をめざす。

福田秀俊（岡崎革新の会）
 3000万署名で月1回アパート訪問。戦争法廃止では月2回宣伝活動を。月1回自動車宣伝もやっている。つなぐ会として9月に重徳衆議院議員とも懇談した。13項目の野党合意も深めていきたい。